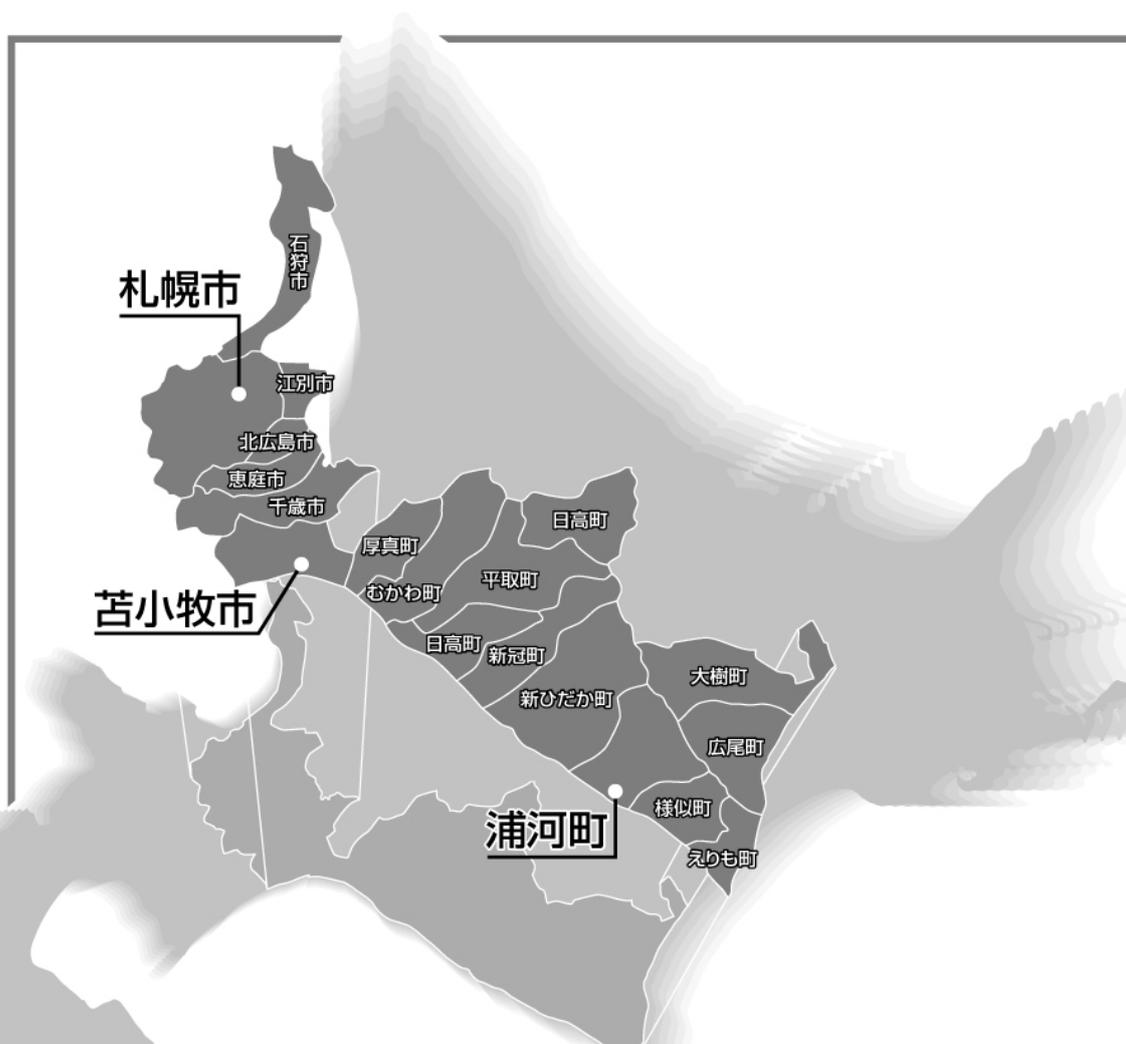


ひだかしんきん 地区内経済概況



日高信用金庫100周年キャッチフレーズ

これまでも これからも このまちで



URL <http://www.shinkin.co.jp/hidaka/>

ひだかしんさん創立100周年

『なない、三日記』

「持続可能な地域と会社をめざして」

有限会社橋本興業は、農家であった祖父・橋本常雄が林業を始め、昭和30年頃に橋本木材として創業しました。林業から木材加工へとシフトし、同じころ自動車整備業にも参入。昭和43年に有限会社橋本興業を設立後、現会長の橋本誠治が代表取締役役に就任し、木材部門は廃業、自動車部門を中心に営業活動を行ってきました。

平成24年に代表取締役が私に代わり、自動車修理・販売をメインに営業活動をしてきましたが、令和2年6月に「コインランドリー LAUNDRY LAND」を開業。翌年4月には「北海道新聞橋本販売所」を事業承継し、7月には「ぼると・みついし」をオープンしました。

過疎が進む新ひだか町三石地区で「持続可能な地域と会社」を実現させるために、弊社の事業を通して以下のことに取り組んでいます。自動車部門では安全と安心の追求。新聞部門ではNIE活動の支援による新聞を通じた子ども達の学力向上。「ぼると・みついし」では地元特産品の販売や体験観光ツアーの実施による交流人口の増加と、子ども達にツアー体験をしてもらうことによるふるさと教育活動の支援や、カフェの運営による地域の皆様が集まれる場所の提供。コインランドリーでは地域の皆様の利便性の向上はもちろん、町内施設を有効活用するために合宿誘致などで来町する方々の利便性の向上を図る取り組みも行っています。その他にも様々なイベントや活動に参画し、地域の活性化を図る活動や取り組みを実施しています。

持続可能な地域を目指すということは、弊社の持続にも繋がり、日高信用金庫様の強力なお力添えで事業の継続が可能となります。これからも「持続可能な地域と会社」を目指し、日高信用金庫様と共に取り組んでまいります。

執筆者プロフィール

橋本 勝司(はしもと・かつじ)

新ひだか町(旧三石町本桐)出身。有限会社橋本興業代表取締役。浦河高校卒業後は自動車整備専門学校に進学し、卒業後に同社へ入社。主な公職として、新ひだか観光協会副会長、新ひだか商工会理事、蓬莱山まつり実行委員会会長、はまなす運営企画委員会会長、新ひだか町三石地区学校運営協議会会長



***** 目 次 *****

業種別総括 令和 3年12月

概 況	1
漁業・水産加工業	2
農業・軽種馬生産業	3
建設業	3
木材・製材業	4
卸・小売業・観光	4
倒産・雇用状況	5
その他	5
指 標	6~7
トピック	8
インフォメーション	9

概況

令和3年12月

〔漁業〕

- ・ 12月の漁獲量は前年を792ト下回り、漁獲金額は前年を3億2,300万円下回った。漁獲量では、底曳網、タラ・スケソウ、タコ、ツブ、ホッキ漁が大幅に減少し、カレイ漁は大幅に増加している。漁獲金額では、底曳網、ツブ、毛ガニ漁、昆布が減少し、カレイ漁は増加している。

〔農業・軽種馬生産業〕

- ・ 全道一の生産量を誇る新冠町特産の「にいかつぶピーマン」令和3年度の販売金額が、初めて10億円台を突破した前年より1億3,410万円減少し、9億8,217万円の販売金額となった。
- ・ 原油価格の高騰は、コロナ禍で打撃を受けた後、回復途上にあった業界に冷や水を浴びせた。新ひだか町で特産の「デルフィニウム」などを育てる花卉農家は「燃料代がいくらかかっても花の生育が最優先。ビニールハウスの暖房を弱めることはできない」と漏らす。
- ・ 牧場関係者らから従業員の確保について要望や考えを聞く意見交換会が新ひだか町で開かれた。若者の軽種馬牧場への就業促進を目指す取り組み「BOKUJOB(ボクジョブ)」の一環として行った。牧場代表らが出席し、「牧場が人手不足だというアピールが必要」などの意見が上がった。

〔建設〕

- ・ 町発注工事(新ひだか～広尾地区)の月中発注額は1億3,600万円、前年を1,400万円上回った。
- ・ 日高管内における国・道・町発注公共工事の月中請負金額(北海道建設業信用保証株の保証請負金額)は5億1,300万円の前年を2億300万円上回った。
- ・ 12月の建築確認申請件数(新ひだか～広尾地区)は、1件で、前年を5件下回った。

〔小売業・飲食業〕

- ・ 新冠町の日高食肉センター主催、エスフーズ共催の道産豚肉還元セール「豚肉びっくり市」が開かれた。今年もコロナ禍で、ドライブスルー方式で販売。この日は約200台が来場した。
- ・ 静内農業高で、生徒が生産・製造した野菜、農産・畜産加工品、草花を販売する「ウインターフェア」が開かれ、大勢の買い物客が訪れてにぎわった。季節ごとに、同校の特色を生かした生徒の実習教育成果を保護者や地域住民に披露・還元する人気のイベントとなっている。

〔観光・その他〕

- ・ 広尾町観光協会は、コロナ対応としてオンラインイベントに切り替えた「広尾毛がにまつり」について、毛ガニの水揚げ量が低調なことから、メインのウェブ販売を中止した。

〔雇用〕

- ・ 12月の浦河地区と全道の月間有効求人倍率は、浦河地区、全道ともに前年を上回った。

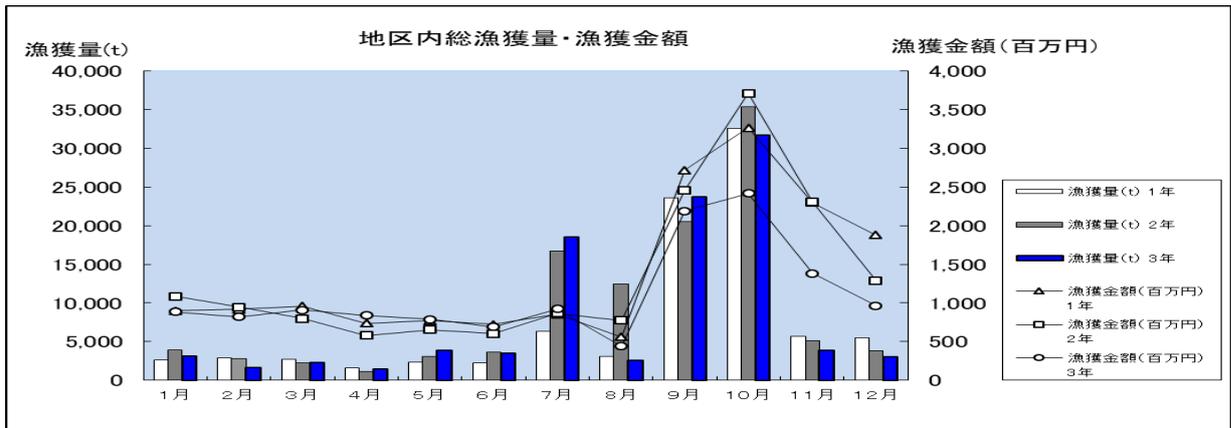
〔総括〕

- ・ 建設業の月中請負金額(北海道建設業信用保証株の保証金額)は、前年を2億300万円上回り、町発注工事は前年を1,400万円上回った。漁業の漁獲量は前年を792ト下回り、漁獲金額は前年を3億2,300万円下回った。日高沿岸の漁を見ると、タコ、ツブ、ホッキ、毛ガニ漁が前年比大幅に減少している。漁業者の中には、赤潮の影響で別な場所に移動しているのではと話す漁師もいる。地場産の魚介類の水揚げは減少しており、漁業者、水産加工会社や飲食店にも影響が出ており、深刻な問題になっている。飲食業は、通常の営業にはほぼ戻り、年末の帰省者も増え、来店客は増加している。団体利用のキャンセルはあるものの、忘年会等の利用も増加し、新年会等の予約も増えている。個人消費は漁業の不振、燃料の高騰から地区内経済に低迷感が感じられ、厳しい業況は続いているが、回復の兆しは見えてきている。

漁業・水産加工業

〔沿岸漁業〕 カレイ、タコ、タラ・スケソウ漁等。〔沖合い漁業〕 底曳網、ツブ、カニ漁等。

総漁獲量 3,039ト、金額 9億6,400万円(前年同月比792ト減・3億2,300万円減)。



底曳網漁	804 t	94 百万円	(前年同月比	138 t 減	22 百万円減)
カレイ漁	617 t	288 百万円	(前年同月比	230 t 増	54 百万円増)
タコ漁	49 t	45 百万円	(前年同月比	41 t 減	1 百万円増)
ツブ漁	18 t	13 百万円	(前年同月比	76 t 減	31 百万円減)
ホッキ漁	21 t	11 百万円	(前年同月比	46 t 減	5 百万円減)
タラ・スケソウ漁	1,324 t	152 百万円	(前年同月比	320 t 減	15 百万円減)
ハタハタ漁	11 t	6 百万円	(前年同月比	8 t 増	4 百万円増)
メヌケ漁	2 t	2 百万円	(前年同月比	2 t 増	2 百万円増)
毛ガニ漁	20 t	147 百万円	(前年同月比	19 t 減	85 百万円減)
昆布	110 t	187 百万円	(前年同月比	9 t 減	26 百万円減)
その他	63 t	19 百万円	(前年同月比	383 t 減	200 百万円減)

- ・ 道内の沿岸漁業に国内過去最悪の被害をもたらした赤潮が12月15日までにほぼ消滅し、9月中旬の発生から3カ月弱で収束した。原因プランクトン「カレニア・セリフォルミス」の生態調査や赤潮発生メカニズム解明には少なくとも数カ月かかる見通し。漁業関係者はひとまず安堵しているが、来年以降の漁への不安は消えていない。道によると、赤潮による漁業被害額は12月10日現在、ウニ73億7千万円、サケ7,400万円などで計81億9千万円。コンブだけでなくツブやタコなど、海の深い場所で生息する魚種の被害は調査が進まず、今後170億円規模まで膨らむとの見方もある。
- ・ 浦河町は11月11日から、赤潮被害にあった事業者への支援や漁場の早期回復を図るための調査など、赤潮被害対策に係る寄付金を募っている。12月27日時点の寄付状況は、①「うらかわの海の再生に向けた取り組み」、1,562件、金額3,776万3,000円。②「赤潮被害を受けた『うらかわの海』への支援」80件、金額66万円。③24日から「ふるさとチョイス」でガバメントクラウドファンディングを開始し、3件、5万3千円。合計は1,645件、3,847万6,000円となっている。
- ・ 様似町は12月1日、赤潮で被害を受けた漁業者らの支援に充てるため、「ガバメントクラウドファンディング」の受付を始めた。11月10日時点の推計によると、赤潮被害はツブ、ウニ、タコ、ナマコを中心に約20億6,800万円に上がる。町は寄付金を漁業者や水産加工業者の支援事業、海水の調査などに活用する考え。ふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」内のページで募集する。

(対象は新ひだか、浦河、様似、えりも、広尾の各地区) (「t」はトンを表しています)

農業・軽種馬生産業

〔軽種馬生産業〕

- 4世代の日本ダービー馬が顔をそろえた「第41回ジャパンカップ」が11月28日、東京競馬場で行われ道中は中団に位置していた新冠町ノースヒルズ生産で1番人気コントレイルが残り200m付近で先頭に立ち、そのまま2着以下に2馬身の差をつけて優勝。同馬としては2019年のデビュー以来3年連続、通算5つめのG I タイトルを獲得し、引退の花道を飾った。ジャパンカップでの感動のラストランから5日。引退式を終え、矢作厩舎でメディカルチェックを受けたG I 5勝馬コントレイルが12月3日、安平町の社台スタリオンステーションに到着した。2022年から種牡馬生活をスタートさせる。種付け料は新種牡馬としてはディーピンパクト以来となる1,200万円(受胎確認後支払い、フリーターン特約付き)に設定されたが、発表とほぼ同時に満口を示すブックフルマークが打たれた。

〔農業〕

- 全道一の生産量を誇る新冠町特産の「にいかっぷピーマン」令和3年度の販売金額が、始めて10億円台を突破した前年より1億3,410万1,844円減少し、9億8,217万9,313円の販売金額となった。今年は、46戸(前年比1戸減)が作付けし、面積は24.8㍍(同1.2㍍増)のハウスで栽培、共選・個別を含めて5月17日から11月19日まで2,380.5㍍(同225.6㍍増)を出荷した。昨年は、道外の産地の生産量が天候などにより減少したため、販売単価は過去最高の1㍍518円だったが、今年は平年並みに落ち着いた1㍍416円となり過去2番目の販売額となった。道内産ピーマン出荷実績(ホクレン扱い)では、産地別で毎年約60%のシェアを占めている。昨年6月5日に特許庁の地域団体商標に登録され、梱包されたピーマンは、道内市場や関東、中京、関西方面に送られている。
- 原油価格の高騰は、コロナ禍で打撃を受けた後、回復途上にあった業界に冷や水を浴びせた。新ひだか町で特産の「デルフィニウム」などを育てる花卉農家は「燃料代がいくらかかっても花の生育が最優先。ビニールハウスの暖房を弱めることはできない」と漏らす。ハウス17棟、計50㍍で年間通じて切り花を育てる。室温を保つボイラー用の灯油使用量は年間2万5千㍍に上がる。灯油価格は昨年に比べ、1㍍当たり30円高い110円。高止まりが続けば年間約100万円のコスト増がのしかかる。

〔花き栽培〕

- 12月の花き出荷実績は、17万本、金額2,127万円(前年16万本、1,411万円)。

建設業

〔公共工事〕

- 日高管内の国・道・町発注公共工事の月中請負金額(北海道建設業(信用保証株)の保証請負金額)は、5億1,300万円で、前年同月比で2億300万円増加した。

〔町発注工事・建築確認申請〕 (令和3年12月)

	工 事 件 数				金 額 (百万円)				確認申請件数
	土 木	建 築	その他	計	土 木	建 築	その他	計	
新ひだか町	3	0	0	3	82	0	0	82	0
浦河町	1	0	2	3	3	0	20	23	1
様似町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
えりも町	0	4	0	4	0	31	0	31	0
広尾町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	4	4	2	10	85	31	20	136	1

- 町発注工事(新ひだか〜広尾地区)は1億3,600万円となった(前年同月1億2,200万円)。工事発注状況を見ると、前年同月比では、件数は1件下回り、金額は1,400万円上回った。
- 12月中受付の建築確認申請件数(新ひだか〜広尾地区)は1件で、前年を5件下回った。

木材・製材業

〔木 材〕

- ・チップ材の出荷状況(広尾地区)は、数量が725ト(前年863ト)で前年比16.0%の減少。出荷金額は1,468万円(同1,750万円)で前年比16.1%の減少。

〔製 材〕

- ・建材、プレカット材等の受注は取扱い少なく、減少傾向が続いている。

卸・小売業・観光

〔卸売業〕

- ・野菜は、道内産はゴボウ、カボチャ、ジャガイモ、ネギが主体、その他の野菜類は、本州産となっている。果物は、本州産のイチゴ、リンゴ、ミカンが多く出荷されている。

〔小売業・飲食業〕

- ・静内農業高で、生徒が生産・製造した野菜、農産・畜産加工品、草花を販売する「ウィンターフェア」が開かれた。季節ごとに、同校の特色を生かした生徒の実習教育成果を保護者や地域住民に披露・還元する人気のイベント。新型コロナの影響により2年ぶりの開催となり、感染防止対策を徹底した。各コーナーに大豆や小豆、虎豆などの野菜、アイスクリームなどの畜産加工品、トマトジュースやうまみそなどの農産加工品、クリスマスの花・ポインセチア、シクラメンなどここでしか購入できない商品が並んだ。販売開始時間より1時間前に同校を訪れる人がいるなど、各販売コーナーには行列ができ、生徒たちは、接客やレジ打ち、商品の補充など対応に追われていた。

〔観光・その他〕

- ・日高振興局は2021年度上半期(4~9月)の日高管内観光客の入込客数をまとめた。新型コロナウイルス感染拡大の影響が続いているが、管内7町の合計は前年度同期に比べ114.5%の79万1,800人(前年同期69万1,300人)と増加。入込客が多い新ひだか町静内の「しずない桜まつり」だけは開催され、他の主なイベントは中止。だが、新ひだか町静内や三石、浦河の観光客数は昨年と比べて3~5割強の増加となっている。上半期実績は、道外客は前年比116.0%の14万7,700人(前年同期12万7,300人)で全体の18.7%。道内客は同114.2%の64万4,100人(同56万4,000人)で、全体の81.3%。うち、日帰り客は全体の90.7%を占める71万8,100人(前年同期62万1,300人)、宿泊客は同9.3%の7万3,700人(同7万人)。月別では、5月の入込客数の回復が大きく、前年同期比229.5%の18万400人だったが、緊急事態宣言が発令された9月は同73.2%の10万6,200人に減少した。
- ・広尾町観光協会は、新型コロナウイルス対応としてオンラインイベントに切り替えた「広尾毛がにまつり」について、毛ガニの水揚げ量が低調なことから、メインのウェブ販売を中止した。町内の毛ガニ取扱店舗を特設ページで紹介する。「毛がにまつり」は十勝を代表する食のイベント。新型コロナウイルスの感染防止を目的に昨年と今年はオンラインイベントに変更した。昨年のウェブ販売は開始わずか25分で、用意した315セットが完売する人気だった。今回は毛ガニ漁の不振を受けて商品確保の見通しが立たず、漁業関係者と協議した結果、ウェブ販売を中止した。電話注文や来店購入が可能な町内店舗を特設ページで紹介する。毛ガニ販売店の紹介のほか、特産品のネットショップ(3~5日)、特産品が当たる抽選会やクイズ・インスタキャンペーンを予定している。

倒産・雇用状況

〔管内の倒産〕

- 当金庫管内(新冠町～えりも町)の倒産は、0件(前年同月0件)、負債総額ゼロ(同ゼロ)。
当金庫管内を含む苫小牧管内の倒産は、1件(前年同月0件)、負債総額2,100万円(同ゼロ)。

〔道内の倒産〕

- 北海道の倒産件数は7件(前年同月7件)、負債総額は2億6,600万円(同8億5,400万円)、倒産件数は前月比8件減少、前年と同数となった。

〔全国の倒産〕

- 全国の倒産件数は504件(前年同月558件)、負債総額は931億8,100万円(同1,385億1,800万円)。
倒産件数は前月比6件減少、前年比で54件減少した。(東京商工リサーチ)

〔雇 用〕

- 12月の浦河地区の月間有効求人倍率は1.55倍で、前年比0.23ポイント上昇、前月比0.10ポイント上昇した。有効求人数は926人で前年比91人増加、前月比1人減少となった。有効求職者数は596人で前年比37人減少、前月比で45人の減少となった。全道の月間有効求人倍率は1.02倍で、前年比0.03ポイント上昇、前月と同水準となった。

その他

管内生産馬、中央競馬重賞レース勝馬

12/5	第22回	チャンピオンズカップ テーオーケインズ 号	(G I)	(日高町 ヤナガワ牧場 殿生産)
12/11	第57回	中日新聞杯 ショウナンバルディ号	(G III)	(日高町 木村牧場 殿生産)
12/12	第73回	阪神ジュベナイルフィリーズ サークルオブライフ 号	(G I)	(新ひだか町 千代田牧場 殿生産)
12/18	第7回	ターコイズステークス ミスニューヨーク 号	(G III)	(浦河町 高昭牧場 殿生産)
12/25	第144回	中山大障害 オジュウチョウサン 号	(J・G I)	(平取町 坂東牧場 殿生産)

日高管内主要魚種2021年概算水揚げ【11月までの実績と12月推定値の合計】(日高振興局)

魚種	数量(t)	前年比(%)	金額(万円)	前年比(%)	魚種	数量(t)	前年比(%)	金額(万円)	前年比(%)
サケ	1,328	38.6	13億4,139	45.0	イカ類	362	67.6	2億4,832	73.5
カレイ類	3,108	116.1	6億3,284	106.1	タコ類	2,202	103.1	13億1,171	129.8
タラ	2,596	162.0	4億1,984	139.8	ナマコ	71	101.8	3億1,582	112.6
スケトウダラ	8,943	83.0	6億2,488	100.4	毛ガニ	52	71.0	2億8,504	82.2
サバ	2,931	103.3	1億2,671	103.9	ツブ類	1,343	77.3	6億5,557	74.1
ブリ	2,892	149.2	3億 553	118.7	コンブ	2,013	83.4	33億6,879	80.3

※生産高概算は各漁協からの2021年1～11月の漁獲報告に過去5カ年の12月の漁獲平均を加え、年間生産高を推計している。

(注) 調査区域：浦河地区、新ひだか町静内地区及び三石地区、新冠地区、様似地区、えりも地区、広尾

《指 標》

1 営業区域の人口・世帯数動向 (令和3年12月現在)

(単位:人)

町 村 別	人 口			世 帯		
	人 数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
平 取 町	4,659	-126	-17	2,414	-46	-21
日 高 町	11,138	-200	-19	5,959	-49	-8
新 冠 町	5,249	-143	-15	2,753	4	-2
新ひだか町	21,381	-485	-34	11,450	-116	-20
浦 河 町	11,720	-278	-32	6,580	-68	-8
様 似 町	4,087	-38	2	2,118	-20	1
え り も 町	4,428	-89	-6	2,102	-7	-2
日高地区合計	62,662	-1,359	-121	33,376	-302	-60
広 尾 町	6,357	-190	-3	3,237	-53	0
大 樹 町	5,419	-27	-6	2,738	15	-1
日高・十勝地区合計	74,438	-1,576	-130	39,351	-340	-61
札 幌 市	1,960,668	-907	-205	1,087,058	8,126	81
江 別 市	119,701	-114	-17	59,124	439	-10
石 狩 市	58,096	-186	-33	28,247	73	-22
北 広 島 市	57,771	-359	7	28,091	115	8
恵 庭 市	70,108	11	-53	34,470	334	-37
千 歳 市	97,690	-229	-117	50,939	149	-84
石狩地区合計	2,364,034	-1,784	-418	1,287,929	9,236	-64
苫 小 牧 市	169,528	-677	-86	90,525	533	-23
厚 真 町	4,393	-27	6	2,114	24	-2
む か わ 町	7,579	-156	-4	4,006	-58	2
胆振地区合計	181,500	-860	-84	96,645	499	-23
営業区域合計	2,619,972	-4,220	-632	1,423,925	9,395	-148

注:日高町の人口数に外国人登録者数は含まれていません。

(資料出所:各市町村)

2 労働需給状況(令和3年12月)

	浦河職安	全 道	前年同月比		前 月 比	
月間有効求人数	926	83,021	91	5,253	-1	-2,947
月間有効求職者数	596	81,612	-37	2,743	-45	-2,268
月間有効求人倍率	1.55	1.02	0.23	0.03	0.10	0.00

(資料出所:北海道労働局)

3 建築確認申請(令和3年12月)

		件 数	前年同月比	前 月 比
当 金 庫 管 内	当 月 の 申 請	1	-5	-4
(新ひだか町～広尾町)	令和3/4～令和3/12 累計	72	-4	

(資料出所:各市町村)

4 企業倒産状況(令和3年12月)

(単位: 件、百万円)

	件数	金額	前同比(件数)	前同比(金額)	業種	地区
苫小牧管内	1	21	1	21		
うち新冠町～えりも町	0	0	0	0		
北海道	7	266	0	-588		
全国	504	93,181	-54	-45,337		

(資料出所: 東京商工リサーチ)

5 浦河町・新ひだか町 金融機関預金・貸出金残高(令和3年12月)

(単位: 百万円、%)

預 金			貸 出 金		
残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
168,595	1.04	1.01	60,812	1.03	1.01

(資料出所: 浦河・静内金融協会)

6 浦河町・新ひだか町 手形交換高

(単位: 枚、百万円、%)

	3年12月	前年同月比	前 月 比
交換枚数	128	-9.86	-43.11
交換金額	692	11.61	54.12
不渡り手形枚数	0	—	—
不渡り手形金額	0	—	—

(資料出所: 浦河・静内金融協会)

7 気象情報(札幌管区気象台発表)

令和3年12月中の気象状況

(単位: °C、mm、h)

	本 年			平年偏差・平年比			平年偏差、平年比は、1991～2020年の資料から算出された平年値を使用。気温は当月の平均気温から平年値を差し引いたもの(平年比)。降水量、日照時間は当月の降水量・日照時間の平均を平年値で割り返したものの(平年偏差)。
	気 温	降水量	日照時間	気 温	降水量	日照時間	
浦 河	0.7	54.5	113.0	0.6	92.4	99.8	
広 尾	0.1	100.5	160.2	1.4	110.0	107.2	

(資料出所: 国土交通省・気象庁)

8 各町の水道使用量(令和3年12月)

(単位: t、%)

	一般家庭用	前年比	事業用	前年比	合 計	前年比
新ひだか町静内	93,053	-3.8	46,552	2.5	139,605	-1.8
新ひだか町三石	16,048	-3.2	8,432	-4.3	24,480	-3.6
浦 河 町	56,966	-2.4	24,109	-5.0	81,075	-3.2
様 似 町	22,299	-0.6	10,592	4.6	32,891	1.0
え り も 町	23,226	-5.9	11,054	3.9	34,280	-3.0
広 尾 町	29,776	-6.6	13,268	-3.5	43,044	-5.6

(資料出所: 各町)

日高振興局では、地域の特色や優位性を皆様に広くアピールさせていただくため、農業、林業、水産業、商工業などの幅広い分野で、日高の素晴らしさを紹介しています。今回は、日高管内の農業基幹施設をご紹介します。

日高町に管内初の乳牛育成施設が完成

～ 日高キャトルセンター株式会社 ～

○ 整備趣旨

日高町は、苫小牧港が近く生乳出荷・飼料配送に優位性があり畜産に適している地域で、「ヨーグルッペ」などの乳酸菌飲料を製造する北海道日高乳業（株）があり、日高管内の中でも生乳生産が盛んな地域である。

日高町では地域の酪農家が連携し、手間のかかる哺育・育成を分業化するキャトルセンターを整備することで、高品質な後継牛を増産し、地域における飼養頭数の増加（11%・88頭/年）による乳量増（10.6%・860t/年）と労働力の軽減（育成牛65時間/頭、哺乳牛25時間/頭程度の削減）により離農を抑制し、畜産の発展と乳量増加による地域乳業の活性化を目指すものである。

○ 施設概要

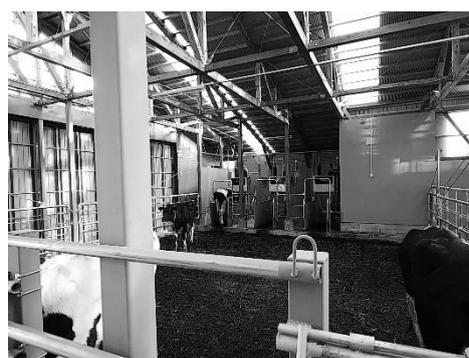
当センターでは、日高町内の酪農家から生後3～10日齢または、5ヶ月齢の子牛の受入を基本に、20ヶ月齢まで育成し、人工授精で受胎させた後、酪農家の元に戻す。

育成中は、フィードステーションで濃厚飼料を自動給与する際に、個体ごとに採食量と体重を毎日データ化し、病気の早期発見と増体に向けた管理の適正化を図るスマート農業を取り入れており、牛床は管理効率の良い、パーク材を使用した戻し堆肥を敷料としている。

所在地	日高町 ^{くらとみ} 庫富37番地1 [敷地面積 約4万平方m]		
施設	哺育牛舎1棟 (1,112.24㎡)	育成【前期~中期】牛舎1棟 (1,320.30㎡)	
	育成【中期~後期】牛舎3棟 (5,658.66㎡)	隔離牛舎1棟 (658.94㎡)	
	飼料庫1棟 (336.96㎡)	乾草舎3棟 (1,487.16㎡)	堆肥舎3棟 (1,620.00㎡)
	管理棟1棟 (77.76㎡)	家畜搬送トラック2台	ホムダ-2台 タンク1台
竣工日	令和3年10月		
飼養規模	1,000頭（うち哺育牛200頭、育成牛800頭）		
労働力	5名（正職員3名、准職員1名、事務パート1名）		
事業費	1,580百万円 （うち国・道費補助金609百万円）		
預託料金	子牛1頭あたり・1日750円（税抜き） 〔生後91日以降は、1日600円（税抜き）〕		



日高キャトルセンター 全景



育成牛舎内（フィードステーションでの給餌）

◆問い合わせ先 日高振興局産業振興部農務課 電話 0146-22-9341

お客様各位

日高信用金庫

振込手数料の一部改定について

平素より格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当金庫では、令和3年11月1日（月）より、他金融機関あての振込手数料を下記のとおり改定させていただくことといたしました。

今回の改定は、銀行間手数料の廃止と一般社団法人全国銀行資金決済ネットワークにおける内国為替制度運営費の創設によるものです。

当金庫では、今後も多くのお客様にご満足いただけるよう、各種サービスの充実に努めてまいりますので、引き続きご愛顧くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 改定日 令和3年11月1日（月）

2. 改定内容

(1) 他金融機関向け振込手数料の改定

金額	種類	他金融機関あて		
		改定前	改定後	改定幅
3万円以上	窓口	880円	770円	▲110円
	(会員)	770円	660円	▲110円
	ATM扱	660円	550円	▲110円
	定額自動振込	660円	550円	▲110円
3万円未満	窓口	660円	605円	▲55円
	(会員)	550円	495円	▲55円
	ATM扱	440円	385円	▲55円
	定額自動振込	440円	385円	▲55円

※ 当金庫同一店内あて及び本支店あての振込手数料に変更はありません。

(2) インターネットバンキング・ファームバンキング・テレフォンバンキング振込手数料の改定

金額	あて先	改定前	改定後	改定幅
3万円以上	店内	110円	110円	-
	本支店	220円	220円	-
	他行	550円	440円	▲110円
3万円未満	店内	110円	110円	-
	本支店	110円	110円	-
	他行	330円	275円	▲55円

**懸賞金総額
1,100万円!**



さらに
ひだかしんきん
創立100周年記念
地域応援企画

抽せんで
550名さまに
なないろチケット
プレゼント!

懸賞品抽選日
令和4年4月8日



なないろチケット
感謝賞 1万円
50名さま
なないろ賞 3千円
500名さま



※1ユニット完売した場合

※懸賞金からは別途20.315%の税金が徴収されます。商品内容等詳細はチラシ裏面をご覧ください。

第34回
懸賞金付定期預金

Wow!

スーパージャンス

お取扱期間・令和3年12月1日(水)～令和4年3月31日(水)

創立100周年記念キャンペーン第2弾

懸賞金 抽選日
令和4年11月11日



懸賞金
1等5万円
66本!



懸賞金
当選総本数
1,606本!



お申込み・お問い合わせはお近くのひだかしんきん窓口または当金庫HPへ。ご希望の場合は営業担当がご訪問いたします。

日高信用金庫
http://www.shinkin.co.jp/hidaka



本店営業部	☎0146-22-4111	えりも支店	☎01466-2-2311
静内支店	☎0146-42-1531	広尾支店	☎01558-2-3161
三石支店	☎0146-33-2311	堺町支店	☎0146-22-5611
様似支店	☎0146-36-2341	札幌支店	☎011-200-7070

経営に関するお悩みをお持ちの皆様へ

経営相談のご案内

日高信用金庫では、外部専門機関とのネットワークを活用し、お客様と共に経営の課題解決を目指します。

創業を考えている
創業して間もない



創業支援

ミラサポ^(※)などと連携し
創業準備や資金調達
などのご案内を行っています。

※ミラサポは令和3年度より、名称が「中小企業119」に変わります。

資金繰りを改善したい
事業計画書を策定したい
支援機関にサポートが必要



経営改善

北海道よろず支援機構
などと連携し、経営改善
のお手伝いをしています。

後継者について悩んでいる
M & Aを考えている



事業承継

北海道事業引継ぎ支援
センター、事業承継サポ
ートネットワークなどと連
携し、円滑な事業承継を
支援しています。

●ご相談の流れ

裏面の「経営相談申込書」にご相談内容をご記入のうえ、当金庫の各営業店にご提出頂くか、裏面に記載の宛先までFAXしていただきます。

▶ 当金庫融資部の担当者より連絡の上、詳しいご相談内容をお伺いします。

▶ 当金庫融資部にて、最適な解決策や専門機関との連携について協議します。

▶ 協議内容をご相談者様にお伝えし、協力して取り組んで参ります。

日高信用金庫は経営の課題解決のベストパートナーを目指しています！



当金庫公式HPはこちら↑



ご相談・お問い合わせは 下記の本支店窓口または

0146-22-4113 (融資部) または 裏面のFAX用紙にて

本店営業部 0146-22-4111 えりも支店 01466-2-2311
静内支店 0146-42-1531 広尾支店 01558-2-3161
三石支店 0146-33-2311 堺町支店 0146-22-5611
様似支店 0146-36-2341 札幌支店 011-200-7070

ひだかしんきん 創立100周年記念事業

新規創業者・起業者

の方を応援します！

日高信用金庫は、おかげさまで、令和3年度創立100周年を迎えます。
記念事業の一環として新規創業者・起業者の方を応援する
「新規創業助成金事業」を開始します。

事業内容

● 募集対象先 (中小企業・個人事業主)

新冠町、新ひだか町、浦河町、様似町、えりも町、広尾町、大樹町

上記町内に「新たに創業」し、事業所または活動拠点等を設置する予定の方。
活動拠点を他の地域から上記町内へ移動する方も対象となります。

● 募集期間

令和3年4月1日～令和4年3月31日

● 助成金額

1 事業者30万円を助成します。

● 必要書類

税務署への開業届・営業開始が確認できる通帳の写し、領収書や写真等証明書類を
徴求し確認させていただきますので、ご準備ください。

● お申込み方法

お近くの当金庫営業店にある応募用紙にご記入の上、お申込みください。
なお、選考委員による審査がございます。

● 審査の流れ

お申込み

審査

審査結果の公表

助成金の交付

※詳しくは、お近くの下記営業店へお問い合わせください。

● ご相談・お問い合わせ

0146-22-4113 または 下記の営業店窓口へ
(融資部経営相談課)

本店営業部 0146-22-4111 えりも支店 01466-2-2311
静内支店 0146-42-1531 広尾支店 01558-2-3161
三石支店 0146-33-2311 堺町支店 0146-22-5611
様似支店 0146-36-2341 札幌支店 011-200-7070



◀ 当金庫公式HPはこちら



これまでも これからも このまちで
日高信用金庫



ひだかしんきん営業のご案内

ATM	本店	〒057-0013	浦河郡浦河町大通 2 丁目 31 の 2	☎ (0146) 22-4111
ATM	堺町支店	〒057-0034	浦河郡浦河町堺町西 1 丁目 83 の 59	☎ (0146) 22-5611
ATM	静内支店	〒056-0016	日高郡新ひだか町静内本町 1 丁目 1 の 15	☎ (0146) 42-1531
ATM	三石支店	〒059-3108	日高郡新ひだか町三石本町 197 の 23	☎ (0146) 33-2311
ATM	様似支店	〒058-0014	様似郡様似町大通 2 丁目 35 の 2	☎ (0146) 36-2341
ATM	えりも支店	〒058-0204	幌泉郡えりも町字本町 170 の 1	☎ (01466) 2-2311
ATM	広尾支店	〒089-2615	広尾郡広尾町本通 8 丁目 7 の 1	☎ (01558) 2-3161
	札幌支店	〒060-0004	札幌市中央区北 4 条西 5 丁目 1—4 大樹生命札幌共同ビル 4 階	☎ (011) 200-7070

ATM 営業時間 平日 8 : 45 ~ 18 : 00

※札幌支店を除く各店舗に「ハンドセット搭載機」の ATM が設置されております。

土曜日 ATM 稼働店 : 本店・堺町支店・静内支店・三石支店・様似支店・えりも支店・広尾支店

土曜日 ATM 営業時間 9 : 00 ~ 17 : 00

日曜・祝日 ATM 稼働店 : 本店・静内支店

日曜・祝日 ATM 営業時間 9 : 00 ~ 17 : 00

店外 ATM

浦河町役場内 ATM 浦河郡浦河町築地 浦河役場内 1 階ロビー

店外 ATM 営業時間 平日 9 : 00 ~ 16 : 00

浦河赤十字病院内 ATM 浦河郡浦河町東町 浦河赤十字病院内 1 階ロビー

店外 ATM 営業時間 平日 9 : 00 ~ 18 : 00

パセオ堺町店内 ATM 浦河郡浦河町堺町 店内フロア

店外 ATM 営業時間 平日・土曜・日曜・祝日 9 : 00 ~ 19 : 00

マックスバリュ静内店内 ATM 日高郡新ひだか町静内木場町 店内フロア

店外 ATM 営業時間 平日・土曜・日曜・祝日 9 : 00 ~ 19 : 00

※店外 ATM は、全て「ハンドセット搭載機」です。

※ハンドセット付 ATM : プッシュボタン付受話器から、音声ガイダンスにより操作手順をご案内する ATM です。



業務部地域貢献課

〒057-0013 浦河郡浦河町大通 2 丁目 31 の 2

電話 (0146) 22-4100 FAX (0146) 22-6106

URL <http://www.shinkin.co.jp/hidaka/>

